

## 小 論 文

### 注 意 事 項

- 1 問題用紙は、試験開始の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 問題は、問1～問3の3問があります。必ず3問に答えなさい。なお、答えは解答用紙を用い、横書きとします。
- 3 問1、問3は、解答用紙の字数内でまとめなさい。問2は、解答欄の各枠に1つずつ答えなさい。
- 4 下書き用紙は、表裏とも自由に使用してかまいません。試験終了後に、解答用紙とともに提出しなさい。
- 5 小論文の問題用紙は、試験終了後、持ち帰りなさい。

【問題】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

ものごとは、価値観や立場の違いによって、とらえ方が異なるものです。柔軟な問題解決のためには、まず多様な考え方を知ることが必要です。しかしながら、とかく私たちは、自分の考えを支持する情報に目が向きがちであり、その逆の情報には目が向きにくいものです。このような「偏り」を、マイサイドバイアス (myside bias) と呼びます (Baron,1995)。

特に、ネット上で目に触れる情報は偏りがちであり、自分の考えに近い人の意見に接することが多くなるでしょう。そうすると、<sup>(1)</sup> マイサイドバイアスは、いつそう強まってしまうかねません。ものごとを多面的にとらえるためには、マイサイドバイアスからの脱却が必要なのですが、自力ではなかなか難しいものです。

そこで、討論において、自分とは異なる考えをもつ人の意見に耳を傾けることが役立ちます。主張が真つ向から対立する人には、その主張の根拠を聞いてみると、「なるほど」と納得できる部分があるかもしれません。また、<sup>(2)</sup> 第1部の Topic 11 で述べたように、「賛成」や「反対」といった主張は同じでも、異なる根拠に基づいている場合もあります。さまざまな根拠によって意見が組み立てられているということを知るのも大切です。

討論は、まさにこうした貴重な機会を提供してくれるものです。また、討論の際には、「ものの見方を複眼的にする」というメタ認知的な目的を意識しながら臨むことが大切です。こうした意識をもって、積極的に他者の意見に耳を傾ける姿勢で皆が討論に臨めば、参加者にとって、さらに<sup>(3)</sup> 実りの多い討論になるでしょう。

(三宮真智子『メタ認知で〈学ぶ力〉を高める』による)

問1 傍線部 (1) について、ネット上ではマイサイドバイアスがいつそう強まってしまうかねないのはなぜか。あなたが知っているネットにおける情報利用の仕方を例に挙げながら 150 字以内で具体的に説明しなさい。

(20点)

問2 傍線部 (2) について、筆者は第1部の Topic 11 で「さまざまな根拠によって意見が組み立てられているということを知る」ための授業を紹介し、そこで以下のような問題例 (要約) を示している。この問題例において、どのような「賛成」や「反対」といった主張は同じでも、異なる根拠に基づいている場合」が考えられるか、Aさんの行為に「賛成」、「反対」の主張のそれぞれについてその根拠を2つずつ簡潔に答えなさい。

問題例 (要約)

Aさんは瀕死状態の奥さんを助けるため、高額の新薬を盗んだ。開発に10万円かかったその薬は100万円で売られており、金策に窮したAさんが、まずは50万円の支払い (残りは後払い) で売ってほしいと頼んだが、聞き入れられなかったからである。Aさんの行為の是非について、あなたの考えを述べよ。

(20点)

問3 傍線部3について、あなたは「実りの多い討論」にするために何が必要だと考えますか。あなた自身の討論の経験を例に挙げながら、800字以内で述べなさい。

(60点)